

がんばろう 南三陸町 復興第 53 号

南三陸マイタウン月刊情報

発行所

千葉総合印刷株式会社

本吉郡南三陸町志津川字沼田 150-84
TEL(46) 3069 FAX(46)3068

志津川広報センター

企画・編集 千葉伸孝

志高の伝統よ永遠に！

平成 28 年度志高同窓会

今年も 7 月 15 日南三陸プラザにおいて町内外から、想定を遥かに超える 85 名前後の志津川高校同窓生が集まった。卒業生として今後も「志津川高校応援団」として、活発な議論の中で母校を応援して行こうと誓いあった。総会の審議は「慎重審議」の上、終えることができた。



今回は、昭和 46 年 3 月卒業の普通科 23 回生の小畑会長の呼び掛けの活動により、当時の高校の先生が参加してくれた。仙台に被災後移転してしまった町内の方々も参加してくれた。恩師を囲む同級生の皆さんは 1 テーブルを埋め、昔話となつかしさで笑顔に包まれていた。

総会の中で、同窓会会長が「同窓会から生徒を応援したい！」と二つの事業を提案した。1. 同窓生による模擬面接の開催、2. 東北大会など高成績の活動に奨励賞を贈る、などが了承された。

また、志津川高校同窓会仙台支部が「宮城県支部」と変更された。富谷など仙台市周辺に住む同窓生が多く暮らしているため、名称を変更した。

韓国高校生と芸能交流会

7 月 25 日に韓国の大真女子高等学校の女子高生 20 名と、志高生 130 名を超える生徒や、教員、多数の関係者が集まり、相互の芸能交流をおこなった。両校の校長は「一期一会」の大切さを話し、大真高校校長は「日本と韓国が心を通わせ、素晴らしい大人になって欲しい。」と語った。



チマチョゴリに身を包み来校した女子俊生の姿が、屋体に入ると目に飛び込んできた。志高で現在行っている「第 40 回全国高等学校総合文化祭の国際交流事業」の一環として、今回の韓国の高校生との交流となった。両校の学校活動

報告が通訳を交え会場に伝えられ、両校の校歌が披露された。志高生は旗を振り歓迎の意を表していた。

全国大会に出場する志高の「行山流水戸辺獅子踊」の発表は、太鼓の気高い音で舞台に登場する。その勇ましさ躍動する生徒の演技に、会場の雰囲気が高まった。真剣に見つめる大真高校の女生徒を前に、堂々とした演技は南三陸町に誇れる伝統文化だった。



母校の生徒達は大震災を体験し、国内・国外の同世代の高校生との意見交換で、愛国心・母校愛を深め、グローバル社会と早期の同世代の思考・意識を学び、社会人としての視野を広める活動となっている。

志高同窓生による就職模擬面接

同窓会小畑会長の提案で、町内の企業や地元同窓生の事業所による「模擬面接」が初めて実施開催された。10 班前後に別れ、就職予定の生徒が、参加者の 3～4 人の面接官を前に面接を受けた。進路指導の先生との学校内での面接指導から、直接企業の代表による面接は、いつもと違う経験に緊張でいっぱいだろう。

模擬面接の質問例には、「将来の夢」「部活で得たものは何か」「人と接するのは好きか」「最近のニュースで気になったものは」など、面接官からの問いに真剣に答える生徒の姿に、後輩たちの社会人になる意欲を肌で感じた。

4～5 人の模擬面接での答に、生徒は「地元で暮らしたい」「地元で仕事をしたい」の希望が多かった。両親への感謝と、被災支援の感謝と、町の再建に貢献したいなど、多くの言葉に生徒たちの「郷土愛」があった。志高魂で学業・就職試験に望んでほしい。



広島から愛の福袋支援 5 年目

南三陸病院への台湾の支援は全国の人達に伝わっていた。広島からの「愛の福袋」の活動は、国内だけでなく全国に仲間があり、機関誌には「台湾からの南三陸町への支援活動」が紹介されていた。今回は 5 名の方々と福袋を届ける前に、台湾交流記念碑を訪れた。熊本大地震の発生により今回は分散となったが、全国への被災者支援を続けている。

3 回目のぞみ作業所への訪問は、通所生も覚えていてくれて、笑顔で迎えてくれ「こんにち



は！」とみんなが答え、作業に取り組んでいた。震災から福祉施設「のぞみ作業所」への全国からの再建支援があり、現在は「紙スキ」の技術・機材の開発支援で、多くのデザイナーと企画者や、購買への協力など、多くの「愛」に包まれた作業所と変貌した。震災からの独自の本格事業へと、通所生・職員が一丸となり一生懸命な姿が伺えた。通所生の状況を踏まえ、それぞれの作業に取り組んでいる。今年も「のぞみ」さんへの愛の福袋と商品購入支援を実施した。



のぞみ作業所のモアイの図柄のタオルや、人気の各種「絵はがき」は独自の紙スキと絵柄が好評です。

祝 再建！住所移転はがき印刷受付中！

(文面だけ、写真入り、地図入りも出来ます)

住所移転のお知らせ

謹啓 残暑の候、御家族皆様には益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。この度左記の住所に移転致しました。地元での再建を目指し、志津川西地区東工区を今後の安住の地と決め、住宅再建を進めてきました。お陰様で過日の引き渡しとなり、引越しも無事に終了しました。東日本大震災の大混乱の中で、皆様からの心温かいお励ましや物心共々のご支援をいただき、南三陸町の再出発をいたしました。これも尚に多くの方々のお蔭と心より感謝致しております。今後、今までの以上のご指導ご鞭撻を賜ります様お願い申し上げます。失礼ではございますが書中にて御礼と挨拶にかえさせていただきます。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄り下さい。敬具
平成二十八年八月

新住所 宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田〇〇

旧住所 宮城県本吉郡南三陸町志津川字地ヶ浦〇〇

住所移転のお知らせ

謹啓 酷暑の候、御家族皆様には益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。この度左記の住所に移転致しました。地元での再建を目指し、志津川東地区西工区を今後の安住の地と決め、住宅再建を進めてきました。お陰様で過日の引き渡しとなり、引越しも無事に終了しました。今後、今までの以上のご指導ご鞭撻を賜ります様お願い申し上げます。失礼ではございますが書中にて御礼と挨拶にかえさせていただきます。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄り下さい。敬具
平成二十八年八月



新住所 宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田〇〇

旧住所 宮城県本吉郡南三陸町志津川字本浜野〇〇〇〇〇〇

私たちの「明るい南三陸町創造の会」は、

平成 22 年度の南三陸町の「おらほの町づくり事業」として、町の助成を受け、始めた事業でした。事業開始から半年余りを過ぎた頃に、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災の発生により、メンバーの多くが津波の被害を受けましたが、復旧・復興に向い少しずつ歩みを続けています。

結成された「明るい南三陸町創造の会」の幸せ出会い促進事業を、南三陸町の大震災による人口減少の問題への、私たちの将来の役目の必要性を再確認し、町の補助を受けずに活動再開を仲間と決意しました。



新しく生まれる「南三陸町」の
復興・再建を共に歩む
パートナーになりませんか！

南三陸町から結婚した～い！

南三陸町の未来予想図(南三陸町企画課発行資料から)

会員募集中！

是非 南三陸町へおいで下さい！

美味しい海の幸のある民宿を用意してお待ちしています。まずは、会話と食事で交流しましょう。

【会の目標として】

- 1 年に 1 組でも「人のつながりを生み」、結婚にこだわる事のない「新しい二つの生活造り」のお手伝いをする。
- 婚活希望の方には、南三陸町の方を 1 ヶ月をめどに紹介する。出会いの席は南三陸町内の民宿に招き、楽しい交流から始める(経費は男性が持つ)。

勇気をだして電話を下さい。そこから貴方の人生が変わります。共に新しい生活スタイルを求め、「ふたりの世界」と両親の心配を解決しましょう。

明るい南三陸町創造の会

いっしょに「婚活」「恋活」しましょう！

自分の未来は自分からと、厳しい現代社会を生き抜くのに、1 人でなく「ふたり」でと考える。そんな仲間と共に、南三陸町で私たち独身仲間は頑張り、今後も生まれた町で暮らしたいと強く思っています。



結婚アドバイザーの指導には

「結婚したいなら死ぬ気で婚活しなさい。」
「男性に求める希望は 1 つにしなさい。」がある。

TEL 0226-46-3069
連絡先 南三陸町志津川(千葉)

千葉総合印刷株式会社 商工団地内
46-3069

未来への教訓

復興！ 大津波の記憶を風化させない

平成28年(2016年)
～ 地元報道より ～

3月の出来事

南三陸町

◇南三陸町の14次復興交付金は、11事業で45億6700万円で、交付申請ベースより、5億2700万円増額となった。

◇気仙沼線・大船渡線の沿線の住民が、JR東日本が示したBRTでの本復興を受け、「鉄路での復旧を求め」、2月28日南三陸町の「南三陸プラザ」に住民約200名が集まった。今後は町などの方針の見直しを求め、署名活動を実施する。

『南三陸町立志津川小学校のスクールバス事情』全校児童251人の9割がスクールバスを利用し、一番遠くは南方仮設で、片道1時間以上もかけて通学する。8台のスクールバスは地区ごとに児童を乗せて登下校。新年度も実施され震災6年目を迎える。

◇南三陸では、戸倉地区に整備を進めていた戸倉保育所の、新築移設が4月から共用となる。その他に支援センターを併設し、子育て拠点施設が完成となる。震災での保育所復旧の第1号となる。

◇南三陸町は、復興後の志津川・歌津伊里前地区のイメージ図を作成し、冊子として町内全戸に配布した。

三陸道の「登米志津川道路(16.2k)」のうち、「登米東和IC―三滝堂間(2k)」を、4月16日に「三滝堂IC」として開通する。

4月の出来事

◇宮城県へ南三陸町防災対策庁舎管理が移行になり、復興祈念公園の整備工事にあたり、防災庁舎の献花台が北側(国道向かいの旧宮城商店隣り)に移設された。

南三陸町戸倉の養殖カキが日本で初めて、国際認証ASCの認証を受けた。今後は南三陸町のブランドとして海外に発信する。昨年11月にカキ養殖場で現地審査がおこなわれた。昨年10月には「南三陸杉」も国際認証を得ている。杉・カキの生産に対し環境に配慮した事が評価された。今後は国際的なお墨付きとなり、4年後のオリンピックの国際イベントに提供され、海外への販路が期待されている。

◇政府の東日本大震災の集中期間が道半ばながら終了し、仕上げへの復興創生期がスタートした。◇南三陸町は職員約300名が辞令交付式に出席し、「チーム南三陸町」で復興・創生に全力の新体制で、新年度をスタートした。

◇歌津石浜の飯綱神社のシンボルのシロナガスクジラの顎骨(がっこつ)が大津波で流出し、このほどレプリカではあるが地域のシンボルとして復活した。

◇東日本大震災後に町内で無料運行していた「臨時バス」が、持続可能な運行へと「有料化」となる。◇国の予算で三陸道に416億円が28年度で箇所付けをした。

◇南三陸町消防団(団員515人)が特別表彰「まとい」を受賞した。全国の消防団2200団体から毎年優秀な10団体に授与される。東日本大震災の搜索活動が評価され、献身的な活動に最高栄誉が贈られた。

◇南三陸町は4月、地元産材と養殖カキの二つが国際認証を受け、「国際認証の町」をアピールして商品開発やツアーを受け入れるプロジェクトを発表した。

◇歌津中学校北側の高台に829.8㎡の、伊里前保育所と子育て支援センターが入る複合施設が完成し、27日に落成式が行われる。子育ての拠

◇台湾南部の地震発生に対し、町役場や商店街などで募金活動を実施している。中間集計で138万円が集まり、2月15日までの受け付けで、その後で台湾に届ける。町は見舞金として台湾紅十字組織に100万円を寄付することを決めている。

◇志津川高校の生徒たちが「支援の恩返し」にと、台湾地震へ生徒会として義援金6万8892円を町に届けた。

気仙沼・本吉地区中学校総合体育大会

■野球 1回戦 唐 桑2-0歌 津
2回戦 大 谷4-2志津川

■ソフトボール 鹿 折5-1志津川

■バスケットボール

【男子】1回戦 歌 津66-32気仙沼
2回戦 歌 津50-45鹿 折

志津川59-30小 泉
準決勝 歌 津42-40面 瀬

志津川69-38津 谷
決 勝 志津川44-31歌 津

志津川・歌津、県大会へ
【女子】2回戦 気仙沼43-40歌 津

志津川136-21新 月
準決勝 志津川70-33条 南

決 勝 志津川56-39津 谷
志津川県大会へ

■バレーボール 【男子】
志津川2-0松 岩 面 瀬2-0志津川

階 上2-1志津川 3位志津川
【女子】▶3グループ 小 泉2-0歌 津

津 谷2-0歌 津
▶4グループ 志津川2-0面 瀬

新 月2-0志津川

点として、世代間交流の役割を担う。

南三陸町28年度「おらほのまちづくり補助金」の受け付けが始まり、予算に1千万円を計上した。「公益活動支援」として高齢者の買い物支援事業など(上限30万円)、交流人口の拡大(同50万円)、「全町規模事業」町の魅力や地場産品の紹介(同100万円)、「総合戦略推進」人口減対策など(同100万円)としている。昨年は15事業870万円を採択している。

◇南三陸町は4月、地元産材と養殖カキの二つが国際認証を受け、「国際認証の町」をアピールして商品開発やツアーを受け入れるプロジェクトを発表した。

◇歌津中学校北側の高台に829.8㎡の、伊里前保育所と子育て支援センターが入る複合施設が完成し、27日に落成式が行われる。子育ての拠点として、世代間交流の役割を担う。

◇南三陸町は平成32年の東京五輪の新国立競技場のデザインを手掛けた隈研吾氏に対して、国際認証の要件をクリアした「南三陸杉」の活用の可能性については問いに「目立つ場所に使いたい」と活用を約束した。町は新国立競技場の入場ゲートを希望した。

◇環境省や南三陸町などが主催の「豊かな自然・人・社会を未来につなぐシンポジウム」が9日開かれ150人が参加した。環境に配慮した「バイオマス産業都市」を目指す発表など、持続可能な社会を目指す。

南三陸町の住宅再建は3月末時点で全体の814区画のうち68.6%(577区画)と、最終段階への進捗となった。歌津柕沢(53区画)、歌津中学校上(51区画)、志津川清水(53区画)が完成。引き渡された335区画のうち3月末まで259区画が着手し、災害公営住宅も年度内完了となる。

◇気仙沼・本吉の塩蔵ワカメの上昇が止まらず、平均単価で「1万390円」になっている。

◇南三陸町は町内の21ヵ所の道路橋の修繕に対し、財政出動集中を回避し、計画的修繕へ長寿

南三陸町の「町民バス」の有料化による料金が決まった。一地区内は「200円」とし、地区をまたぐごとに「100円加算」とした。100円券が11枚つづりの、11枚で1000円の回数券も発売する。委託業者は町内の志津川観光交通・歌津交通・歌津タクシー、気仙沼市の本吉タクシーの4社で、大型・中型・マイクロバスなど計9台を運行する。

決勝トーナメント1回戦 志津川2-1気仙沼
準決勝 大 谷2-0志津川

■ソフトテニス 【女子】団体予選Dリーグ
気仙沼3-0志津川 志津川2-1面 瀬

決勝トーナメント1回戦 松 岩2-0志津川

■卓球 【男子】団体予選Bリーグ 1位志津川
準決勝 気仙沼3-1志津川

【女子】4位 歌津 5位 志津川

■サッカー 予選Aブロック 志津川2-1津 谷
志津川5-0鹿 折

予選Bブロック 気仙沼8-0大谷・歌津
条 南1-0大谷・歌津

■柔道 【男子】
団体 志津川3-2気仙沼 志津川は県大会へ

55㎏以下級 1位山内聖哉(志津川) 県大会へ
66㎏以下級 1位山内莉希(志津川) 県大会へ

3位阿部 渉(志津川)
重量級 3位佐藤 光(志津川)

【女子】57㎏以下級 小山里奈(志津川) 県大会へ
中量級 3位小山里奈(志津川)

■剣道 【男子】団体 歌 津2-1唐 桑
唐 桑3-1志津川 歌 津3-1志津川

1位歌津2勝県大会へ 3位志津川
個人 1位千葉大暉(歌津)

【女子】団体 唐 桑5-0志津川

命計画を立てた。◇歌津柕沢地内の仙台銀行歌津支店は、4月18日から営業を開始し、セレモニーが開かれる。

◇南三陸町で、若者グループが昨年に続き「おら酒」を発売。波伝谷の被災した水田で作った米100%使用している。加美町の酒蔵で仕込んだ。1本(720ml)税込2千円で販売している。

志津川高校では登校坂に「旭桜坂(きよくおうざか)」と命名し、石碑を建立した。石碑には「学ぶ 喜び 永遠に」と刻まれ、坂の中頃に設置される。追悼行事などをとおして震災を語り継ぎ、登校するたびに生徒に命の大切さを知ってほしいと山内校長は話す。

◇南三陸町の太陽発電補助金の申請の受け付けが開始となった。上限12万円の補助で、全量を売る契約は対象外とする。昨年の実績は68件で778万円、本年は600万円を計上した。

◇南三陸町は都市部から移住した若者を、「地域おこし協力隊」として非常勤職員として採用する。31年度まで10人を受け入れ、人口対策の新事業に取り組む。外国人旅行者の誘致や、民泊受け入れの「助っ人」の応募に期待をしている。

◇南三陸町防災会議で、土砂災害警戒情報時には志津川中学校の避難方針を「生徒は原則引き渡し」とした。

◇南三陸町では「熊本地震」に保健士ら4人を恩返しにと派遣を決めた。

◇16日三陸道の「登米志津川道路」の登米東和ICから三滝堂ICの2kが開通した。

◇南三陸町教育委員会は、県教委の支援を受け、「心のケアハウス」と適応指導教室「はまゆり教室」を設置して、小中学生の心のケアと不登校対策を、旧南三陸診療所の空き室を利用し、専属指導員を置き、体制を整備する。

◇南三陸町は20日、アルファ米や、簡易トイレなど第1弾の支援物資を熊本に発送した。職員7人の派遣も同日に出発した。

◇南三陸町の戸倉小学校で児童が生ごみの「分別」「栽培」「収穫」と、資源循環を自らの手できと畑に液肥の散布作業をし、野菜作りに取り組んでいる。